



代表取締役会長

十倉雅和

住友化学の真価を発揮し、 サステナブルな社会の実現に向けて 変革を起こします。

2021年は、新型コロナウイルスとの闘いの中でワクチンの普及が始まり、世界経済は回復の動きが見られた一方で、世代間や貧富の格差の問題に加え、米中関係に代表される世界の分断、地球温暖化などの問題が一層深刻な状態となりました。

このような社会の分断やサステナビリティの危機といった大きな社会課題の解決は、国際政治による国家間交渉や行政の働きだけでは成し遂げることが難しく、私たち民間企業の果たすべき役割も大きいと考えます。とりわけ、企業に期待されるイノベーションには、サイエンスやケミストリーの力が必要となります。まさに、化学産業の出番です。

本年度は4月より、岩田社長のもとで、新しい中期経営計画をスタートさせました。社会の地殻変動を、ビジネスチャンスと捉えて変革を進め、一つ一つの事業をより強く――グリーントランスフォーメーション、デジタルトランスフォーメーション、イノベーションの加速で次のステージを目指します。

この先、世界は必ずや地球温暖化問題の解決、格差や分断の解消に向けて大きく前進し、サステナブルな社会の実現に近づいていくことでしょう。新しい世界に向けて、また、新しい住友化学に向かって、歩を進めてまいります。

ステークホルダーの皆さまにおかれましては、引き続き、格別のご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

2022年7月